

時代を聖書で見る⑩

終わりの始まり

①ダニエル書の70週預言の最後の7週の開始の条件:ラッパの祭り(チシェリ1日)から始まり贖罪の日(チシェリ10日)で終わるためには月歴で83月→2011年、2014年など...

②彼が締結するイスラエルとの契約→中間地点で破棄

③その前に起きるであろうこと:

- ・イスラエルは世界の重い石とされる:ゼカリヤ12:3
- ・シリアのダマスコの崩壊:イザヤ17:1
- ・エジプトの崩壊:イザヤ19:1
- ・イスラエルが孤立し、周辺諸国より攻撃される:詩篇83編
→エドムのテント=ヨルダン;イシュマエル人=サウジ;モアブ=パレチナ人+ヨルダン人;ハガル=エジプト;ゲバル=ヒズボラ+北部レバノン;アモン=パレチナ人+北部ヨルダン;アマレク=シナイのアラブ人;ペリシテ=ガザのハマス;ツロ=ヒズボラ+南レバノン;アッシリア=シリア+北部イラク
- ・エゼキエル38,39章のゴグ・マゴグの戦闘にはシリアとエジプトは出てこない

④現状:PA Papersの漏洩→パレチナとイスラエルへの裏切り→PA国家の宣言(ロシア、中国、ブラジル、アルゼンチン、ペルーなどが承認)

- ・イラン:シーア派;核武装を準備;12番目のイマームの再臨を待望する;中東に対する影響力を強め、ロシアとの関係強化
- ・レバノン:ヒズボラによる政権崩壊;イランがヒズボラをバックアップ
- ・シリア:ハリリアサドの力が弱まる;イランとの協力関係を模索
- ・エジプト:政権崩壊の危機;崩壊するとイスラム原理主義化
- ・イランの聖職者は中東諸国のイスラム化を目論む
- ・ロシア:帝政ロシアの再現;プーチン=ピョートル大帝(次期に復活するかも)
→イスラエルの孤立は深まり、イスラエルは過敏になり、一触即発の状況

⑤今後の注目点:シリアのダマスカスとエジプトの状況→ゴグ・マゴグの戦争(=WW3)→中東和平の希求→反キリストの出現と7年間の平和条約